

沿岸漁場基盤整備事業の事業内容

魚礁設置

魚介類が少なく生産性の低い平坦な海底に人工魚礁(鋼製、コンクリート製)を設置することで、魚礁に餌が発生したり、魚礁内部に隠れ場が生じる。ここには多くの魚介類が蛸集して生活するため、効率的な操業が行われる。魚礁設置で生産性の高い魚礁漁場が造成される。



魚礁設置概念図



コンクリート魚礁



鋼製魚礁



魚礁に蛸集する魚類



魚群

増殖場造成

海域及びこれに接続する陸地において有用水産物の発生及び生育に適した環境を整備するために行う着定基質の設置(投石、コンクリートブロック等の設置による藻場造成や干潟の造成)、餌料培養機能を備えた構造物(増殖礁)の設置などにより整備される施設である。



定着性のアワビ、サザエ等を対象とした地先型増殖場造成概念図



囲い礁ブロック



自然石投入



造成された藻場で生育する幼稚魚(メバル)

着定基質(藻場造成)

施設の対象生物としては、

- ①定着性有用水産物(主にアワビ、サザエ等の磯根資源)
- ②非定着性有用水産物(主に魚類等)に区分され、①の対象施設を地先型増殖場、②の対象施設を広域型増殖場と呼んでいる。



魚類等を対象とした広域型増殖場造成概念図



餌料培養機能をもつ増殖礁

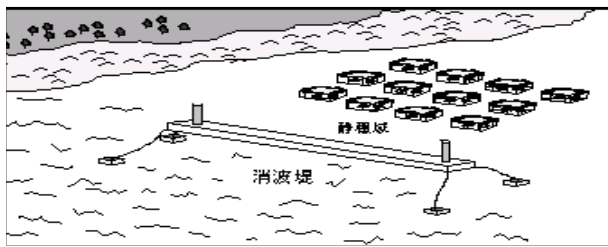
増殖礁(餌料培養機能付)



増殖礁内で保護育成される幼稚魚(メバル)

養殖場造成

海域及びこれに接続する陸地のうち、未利用の状態にある養殖適地に生産性の高い養殖漁場を造成するために行う。消波施設(消波堤、潜堤、浮消波堤)や区画施設の設置等で整備される施設である。



静穏域を作る養殖場造成概念図



浮消波堤



重力式消波堤



消波堤により造成された養殖場(破線内)

漁場の保全

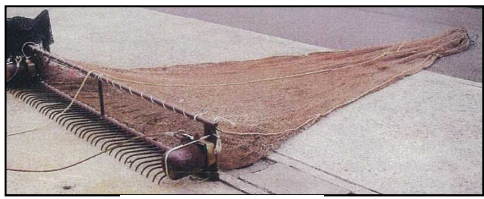
効用の低下している漁場の生産力の回復や水産資源の生息場の環境改善を図るために行う堆積物の除去、底質改善(耕うん、客土、覆土等)、海水交流施設、着定基質の設置などである。



漁場の保全のための事業の成概念図



小型底びき網漁船を用いて空き缶、ビニール等の堆積物除去を行う



貝桁網



大量の貝殻



ワイヤー等